

1 当該学年・学期等における探究課題 《社会と共に》

2 単元名 『仕事に関わろう』（全30時間=実施時期：5月～2月）

3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

・ワーク&ライフ職場体験を中心にした活動を通して、働くことのやりがいや大変さを実感するとともに、自分の適性やこれから身につけていかなければならない力について考えることができる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		仕事に対する自分の適性を知る	職業調べ ワーク&ライフ職場体験	職業調べの内容をまとめる ワーク&ライフ職場体験の内容をまとめる	新聞まとめ 模造紙発表
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	マナー講座を通して、単元の学習を自分事として考えることができる。	職業調べをすることで、職場体験を自分事として考えることができる。 働くことで地域を支えるとともに、自分自身の人生が豊かになることを知ることができる。	どの職業も地域を支えていくために重要な役目を果たしていることに気づく。	
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>		与えられた仕事を最後まで責任をもってやり抜くことができる。	複数回の発表を通して、発表での態度や言葉を調整し、向上させることができる。	収集した情報をもとに、分かりやすい発表資料の作成に粘り強く取り組むことができる。
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>		事業所の方と連絡をとりながら、円滑な取り組みができるよう、準備を進めることができる。	ワーク&ライフ職場体験での気づきを、わかりやすく発信する方法を考えることができる。	
仕掛け・工夫	もの	Passカードで自分を客観的な側面から知る。			
	ひと		ワーク&ライフ職場体験を通じて、地域の大人と関わる。		発表対象を、中1生・保護者と複数回設定する。
	しごと（こと）	マナー講座を通して、仕事に向き合う心構えを知る。	職業調べを通して、様々な仕事を知る。 地域にある様々な仕事を体験する。		各自が得た学びや、感じた想いをまとめ発表することで、クラス全体の共有財産とする。
アウトプットの工夫		複数回発表の場を持つことで、発表方法や態度、言葉の選び方を調整できるようにする。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

ワーク&ライフ職場体験
Passカード（進路アンケート）

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

ワーク&ライフ交流会（1年）
ワーク&ライフ職場体験関連事業所
体験活動報告（中1生・保護者）

◆単元のねらい「ワーク&ライフ職場体験を中心にした活動を通して、働くことのやりがいや大変さを実感するとともに、自分の適性やこれから身につけていかなければならない力について考えることができる。

事前の活動

職業調べを行い、多種多様な職業があることを知る。

自己紹介カードを作ることで、自分を知る。

マナー講座を行い、言葉の使い方や社会でのマナーについて知る。

夏休みに職場への事前訪問の電話を行う。

夏休み期間に、各自が職場訪問を行う。

職場体験活動の様子



事後の活動

体験先にお礼状を書くことで、感謝の気持ちとともに、自らの学びをふり返る。

自分が職場体験活動で学んだことをスライドでまとめる。

まとめたことを、1年生や保護者に発表する。

職場体験活動での学びを通して、20年後の自分をイメージし、クラス内で共有をする

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 夏休みに事業所とのやり取りをすることで、体験活動を自分事として考えることができた。3年ぶりに実際の体験活動を行ったが、生徒が自身のキャリアを考えるうえでとても有効だった。
- △事業所によって、体験の内容が違って来る。生徒がお客さんにならないように、課題をもって職場体験活動ができるような学習の流れの構築が必要。
- ☆職場体験活動の受け入れの可否がわかるリストがあると、体験先の振りわけが行いやすい。